

PART I : INDIVIDUAL INCOME TAXATION

講義 回数	章番号	学習テーマ	テキスト	直対まとめ
①②	第1章	Overview of Individual Income Tax (個人所得税計算の概要) Coffee Break① p.23	p.5	p.2-3
	第2章	Payment of Tax (納税方法) Coffee Break② p.31	p.25	p.3
	第3章	Filing Status (申告資格)	p.33	p.4
	第4章	Dependency Requirements (扶養家族の判定) Coffee Break③ p.52	p.41	p.4-5
③④	第5章	Gross Income – Inclusions (総所得算入項目) Coffee Break④ p.101	p.55	p.5-6
	第6章	Gross Income – Exclusions (総所得除外項目) Coffee Break⑤ p.115	p.103	p.7
	第7章	Depreciation, Amortization, and Depletion (減価償却、無形資産の償却、減耗償却)	p.117	p.8
⑤⑥	第8章	Losses – Deductions and Limitations (損失の種類：控除における制限)	p.129	p.9
	第9章	Above The Line Deductions (調整総所得前控除) Coffee Break⑥ p.166	p.147	p.10-11
	第10章	Below The Line Deductions (調整総所得後控除)	p.169	p.12
⑦	第11章	Other Taxes (その他の税) ※AMT、メディケア税、社会保障税	p.207	p.13
	第12章	Tax Credits (税額控除) Coffee Break⑦ p.229	p.217	p.13
	第13章	Tax Procedures (税務手続き)	p.231	p.3 p.49-50

※ 講義スケジュールについては変更になる場合があります。予めご了承ください。

■ 所得税とは？

個人所得税とは、個人が1年間に稼いだ所得に対して課される税金です。所得税では、「**申告納税方式 (self-assessment system)**」が採用されており、1年間に稼いだ所得とそれに係る税額を自分で計算し、その税額を申告・納付することになっています。

なお、申告・納付をする際に行う手続きを「確定申告」といいます。

* 申告納税方式 - 税金を自ら計算して自ら申告・納付する方法

* 賦課課税方式 - 税金を課す地方自治体等が税金を計算し、納税者が税金を納める方法

■ 公平な課税とは？

所得税は公平に課税されなければなりません、公平な課税とは、それぞれ**個人の税負担能力 (= 担税力) に応じた課税**をすることを意味します。そこで、所得税では、個人の税負担能力 (担税力) に応じた課税をするために、「**超過累進税率 (progressive rate)**」を適用して税額が計算される仕組みとなっています。さらに、米国では、「**申告資格 (filing status)**」に応じて適用される税率表が異なります。

申告資格 (filing status) には、以下の5種類があり、課税年度末の時点で納税者がおかれている状況 (結婚しているかどうか、家族構成：扶養家族の有無など) をもとに、申告資格を決定することになります。申告資格の詳細については、第3章で学習します。

- (1) MFJ : Married Filing Jointly / Joint Return (夫婦合算申告)
- (2) MFS : Married Filing Separately / Separate Return (夫婦個別申告)
- (3) Single (単身者)
- (4) Qualifying Widow (er) / Surviving Spouse (適格寡婦／夫)
- (5) Head of Household (特定世帯主)

※ 税率について：税額＝課税標準×税率で計算される。

① 累進税率 (progressive rate) e.g., 連邦個人所得税、連邦贈与税・相続税

累進課税とは、課税標準 (課税所得、課税贈与額など) をいくつかの階層に区分し、区分した課税標準が増えるに従って適用する税率が高くなる仕組みの課税方式をいう。

② 逆進税率 (regressive rate) ※税制上は稀である。

逆進課税とは、課税標準が増えるに従って適用する税率が低くなる仕組みの課税方式をいう。

③ 比例税率 (proportional rate) e.g., 連邦法人所得税 (一律21%)、売上税、固定資産税

課税標準 (課税所得、課税評価額など) に対して適用される均一の税率をいう。

■ 日本と米国の大きな違いは？

日本では、一般的なサラリーマンの場合、会社が年末調整をしてくれるので (年末調整によってその年の所得税の納付が完了することになる)、基本的に、自分で確定申告を行う必要はないとされています。

一方、米国では、一定額以上の所得がある個人は、原則として、自ら所得税申告書を作成し、確定申告を行わなければなりません。米国には「年末調整」という制度がないため、一般的なサラリーマンであっても、確定申告が義務付けられているのです。

<参考> 日本では利子所得や配当所得についていわゆる源泉分離課税が行われていますが、米国では原則としてこれらの所得についても確定申告をする総合課税方式が採用されています。

1. Overview of Individual Income Tax

(個人所得税計算の概要)

Objectives

個人の納税者は、「Form 1040 : Individual Income Tax Return」を用いて、確定申告を行います。

個人所得税申告書



Form 1040
Individual Income Tax Return

この章では、**個人所得税申告書の構成**と**確定申告**について学習します。

<補足解説> 個人、普通法人、信託・遺産財団などの所得税は、内国歳入法の Subtitle A に規定されています。重要なのは、「**個人の所得税があらゆる所得税のベースとなっている**」ということです。例えば、法人所得税 (corporate income tax) は、個人の所得税と異なる扱いがなされる部分のみが内国歳入法に規定されているのです。従って、個人の所得税をしっかりとマスターすることが必要不可欠となります。

<Internal Revenue Code : 内国歳入法の階層>

以下のような順に階層に分かれています。※Section (条文) は10,000番近くあります。

Subtitle (A,B,C・・・) > CHAPTER (1,2,3・・・) > Subchapter (A,B,C・・・) > PART (I,II,III・・・) > Subpart (A,B,C・・・) > Section (1,2,3・・・) > Subsections (a,b,c・・・)

※Task-Based Simulation に出題される Research 問題対策としては、受講生情報サイトにログイン
⇒上部メニュー「フォローアップセミナー」⇒ **Research 問題の解答方法の動画配信**部分にて
REG (TAX) : Internal Revenue Code 体系のレジュメをご確認ください。

Key Topics

1. **Formula for Individual Income Tax** (所得税の計算) p. 6
2. **Form 1040: Individual Income Tax Return** (所得税申告書の構成) p.10
3. **Filing** (確定申告)
 - (1) Filing Requirement (申告義務) p.16
 - (2) Taxable Year (課税年度) p.18
 - (3) When to File? (申告期限) p.18
4. **Penalties Imposed on Taxpayers** (納税者に対する罰則金) p.22

1. Formula for Individual Income Tax (所得税の計算)

所得税額は、課税所得 (taxable income) に税率 (tax rate) を乗じて計算される。

$$\text{Income Tax} = \text{Taxable income} \times \text{Tax rate}$$

(1) Taxable Income (課税所得)

総所得 (gross income) から各種の所得控除 (deductions) を差し引いて、課税所得 (taxable income) が計算される。

収入	－	支出	=	収支
＋		＋		＋
Gross Income	－	Deduction	=	Taxable Income
総所得		所得控除		課税所得

(2) Gross Income (GI) (総所得)

個人が得る所得（収入）には、例えば、サラリーマンの給与収入、自営業者（個人事業主）の事業所得、利子収入、配当収入、資産取引から生じる譲渡所得、不動産賃貸所得などの様々な種類の所得があるが、基本的に、その人が1年間に得たすべての所得をトータル（総合）して所得税が課税される。

課税対象となる所得 をトータルしたものを「**総所得 (gross income : GI)**」という。

総所得 (GI) には、原則として、すべての所得（収入）が含まれる。

つまり、個人が得た所得は、原則として、すべて申告の対象となり、課税対象となる。

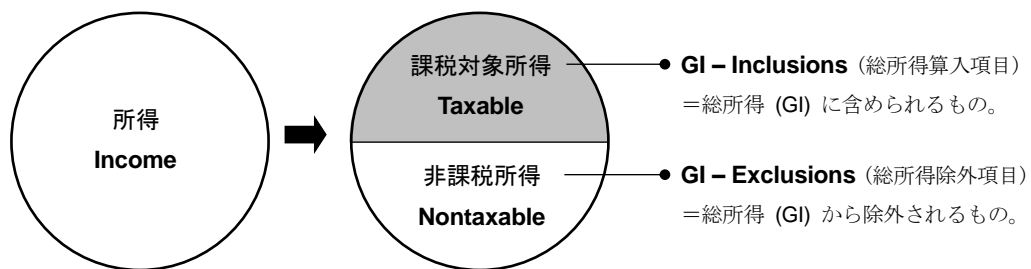
総所得 (GI) に含まれる項目を「総所得算入項目 (inclusions)」という。

但し、内国歳入法上に規定された一定の所得については、例外的に総所得 (GI) から除外することが認められている。例えば、地方債の利息や死亡により受領する生命保険金などがあげられるが、これらは、いわゆる「**非課税所得 (nontaxable income)**」であり、通常、申告する必要はない。

総所得 (GI) から除外される項目を「総所得除外項目 (exclusions)」という。

1st STEP 各種所得の金額の計算

まず、自分が得た様々な種類の所得を、課税対象となるものと非課税となるものに仕分けする。その後、課税対象となる各種所得について「総所得 (GI) に含まれる金額」を個別に計算する。収入金額をそのまま総所得 (GI) に含める場合が多いが、例えば、自営業者の事業所得や不動産賃貸所得などのようにその収入金額－必要経費＝「純利益」を総所得 (GI) に含めるものもある。詳細は第5章で学習する。

**2nd STEP 総所得 (GI) の計算**

1st STEP で計算した課税対象となる各種所得の金額をトータル（総合）して、総所得 (GI) の金額を求める。

<参考> 択一肢問題を解く際には、まず、何が問われているのかを確認しよう。

課税対象となる所得について：

- a. What amount is **included** in gross income on A's income tax return?
総所得 (GI) に含まれる金額はいくらになるのか？
- b. What amount is **taxable** on A's income tax return?
課税対象となる金額はいくらになるのか？
- c. What amount should A **report** in its income tax return?
申告すべき金額はいくらになるのか？

非課税所得について：

- a. Which of the following is **not included** in gross income?
総所得 (GI) に含まれないものはどれか？
- b. Which of the following may be **nontaxable**?
- c. Which of the following may be **tax-free**?
- d. Which of the following may be **tax-exempt**?
非課税となるものはどれか？
- e. Which of the following is **not subject to tax** in A's income tax return?
所得税の対象とはならないものはどれか？

(3) Deductions (所得控除)

個人の費用・損失は、原則として、控除する（差し引く）ことができない。

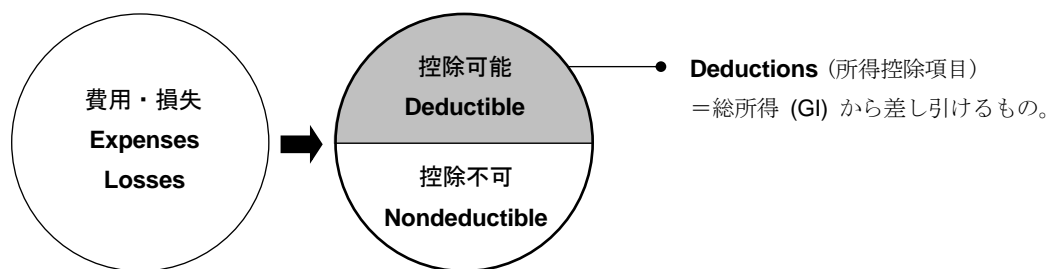
但し、内国歳入法に特に規定された一定の費用・損失については、例外的に控除することが認められている。例えば、医療費、災害損失などである。

総所得 (GI) から控除することができる項目を「**所得控除項目(deductions)**」という。

3rd STEP 課税所得の計算

様々な種類の費用・損失を、控除可能なものと控除できないものに仕分けする。

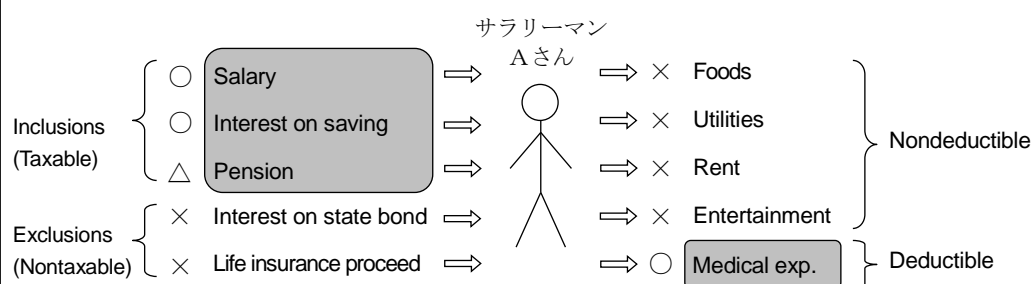
総所得 (GI) から控除可能な費用・損失の金額（所得控除額）を差し引き、課税所得 (taxable income) を計算する。



Example

1st & 2nd STEP

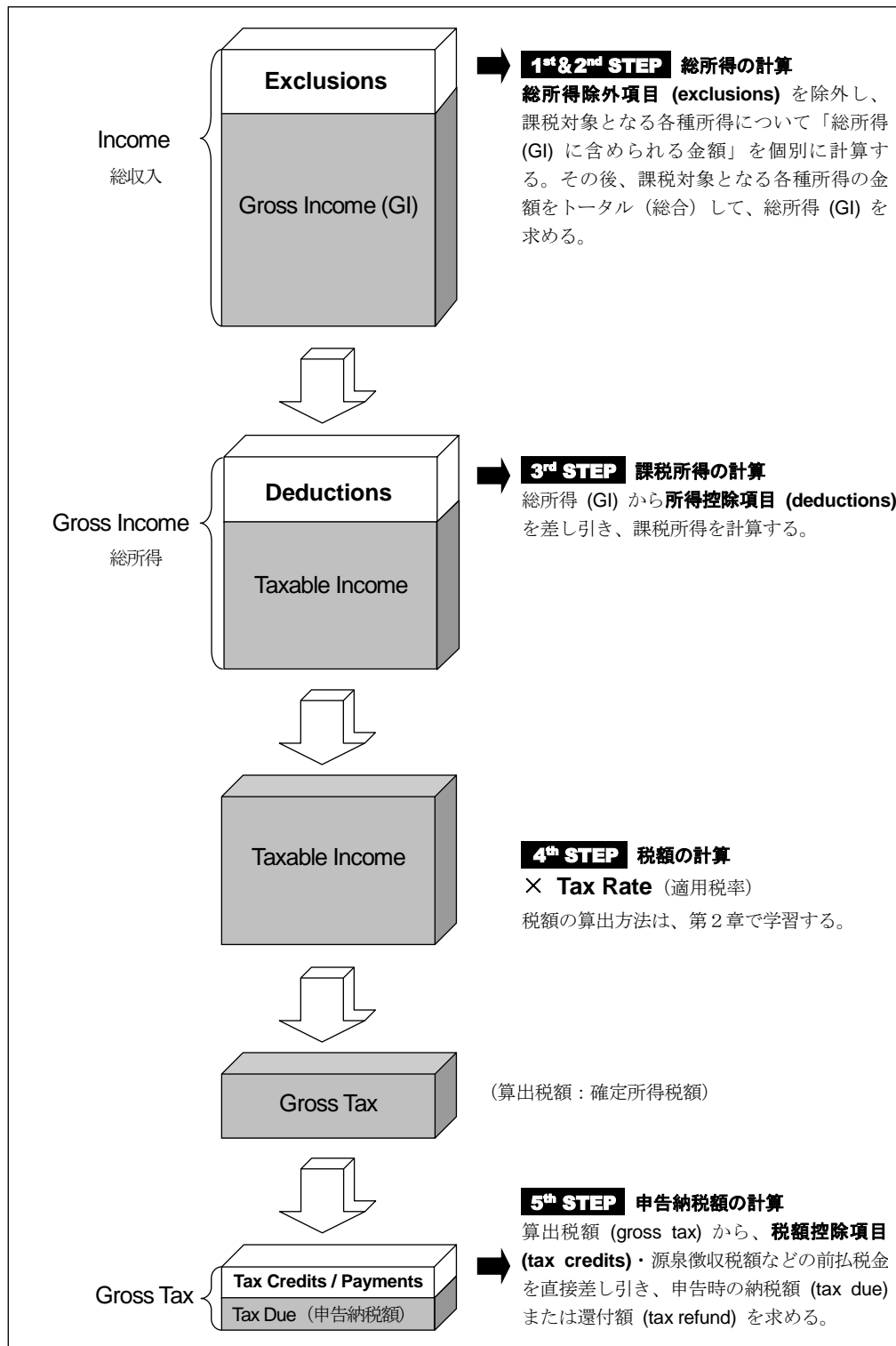
3rd STEP



【注意】 Exclusions / Deductions / Tax Credits の違い

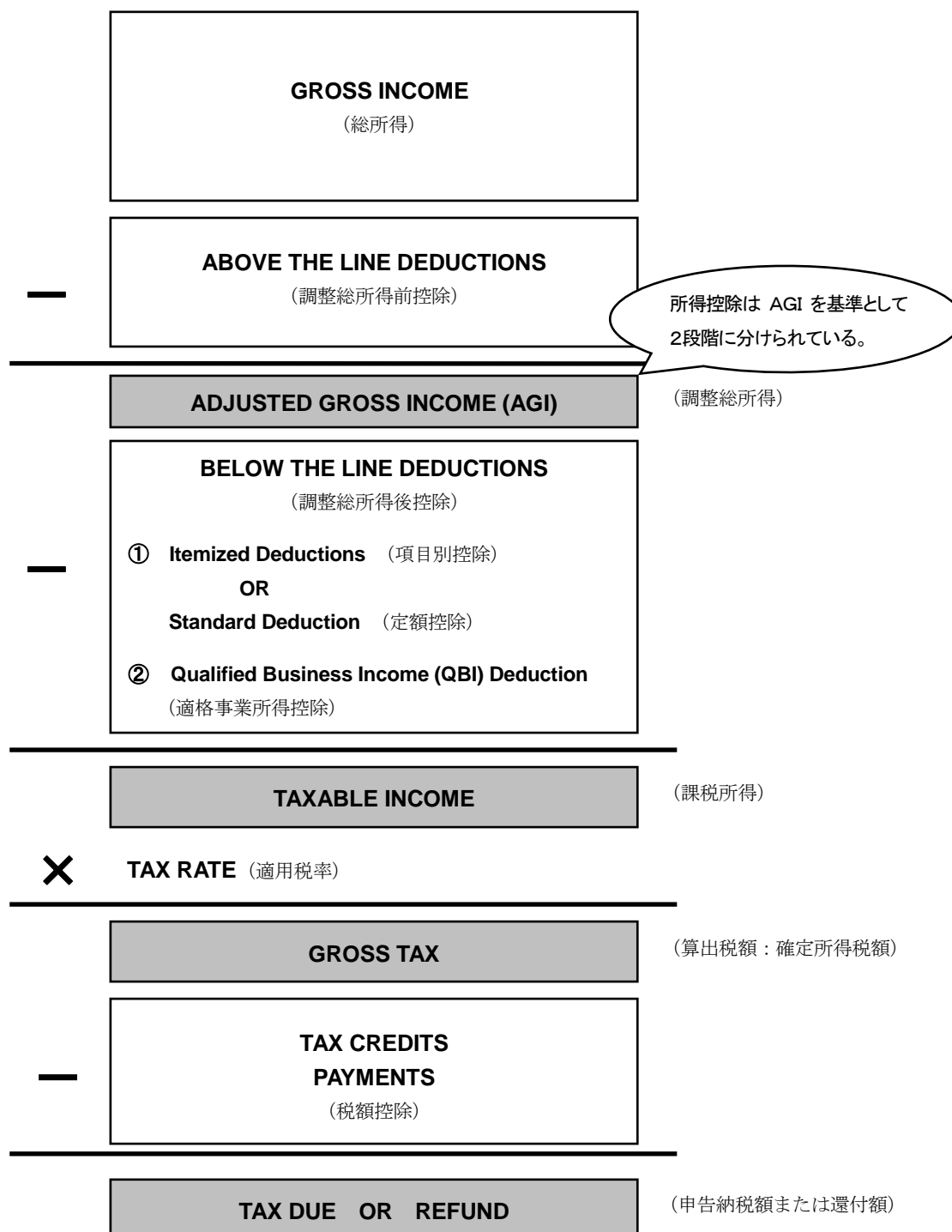
- Exclusions とは、所得項目であるが、非課税となる項目。
- Deductions とは、費用・損失項目であり、総所得 (GI) から差し引くことができる項目。
- Tax Credits とは、算出税額 (gross tax) から直接差し引くことができる項目。

所得税計算のイメージ図



2. Form 1040 : Individual Income Tax Return (所得税申告書の構成)

所得税申告書の骨組み



個人の所得税申告書において、所得控除 (deductions) は、「調整総所得 (adjusted gross income : AGI)」を基準として上か下かで2段階に分けられている。

(1) Above the Line Deductions (Adjustments)

AGIの上で控除する項目を「調整総所得前控除 (above the line deduction)」という。

(2) Below the Line Deductions

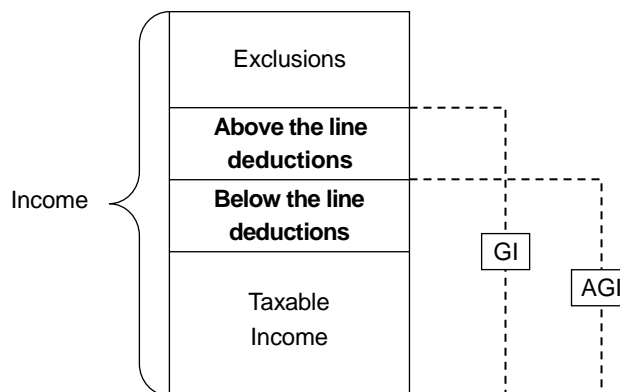
AGIの下で控除する項目を「調整所得後控除 (below the line deduction)」という。

① 「項目別控除 (itemized deductions)」 または 「定額控除 (standard deduction)」

のいずれか**大きい** ほうを選択して控除することができる。

※ 定額控除 (standard deduction) は、標準控除と訳されることもある。『項目別控除 (itemized deductions) の概算控除』に相当するもので、申告資格 (filing status) に応じて、ある一定額を控除する制度である。

② 「適格事業所得控除 (qualified business income deductions)」では、個人事業やパス・スルー事業体（例：パートナーシップ）を通じて得た国内適格事業所得の一部を控除することができる。詳細は第10章で学習する。

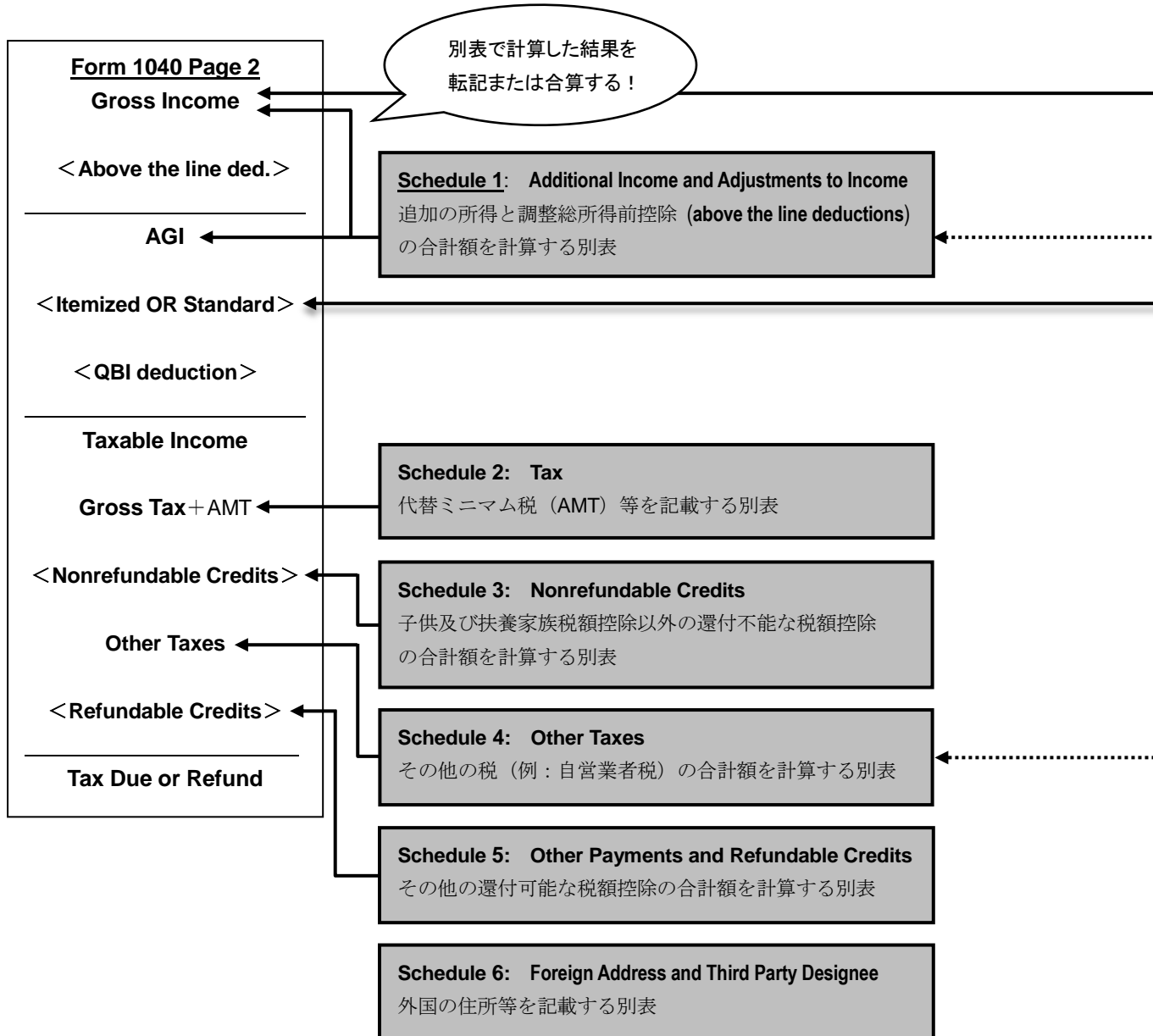


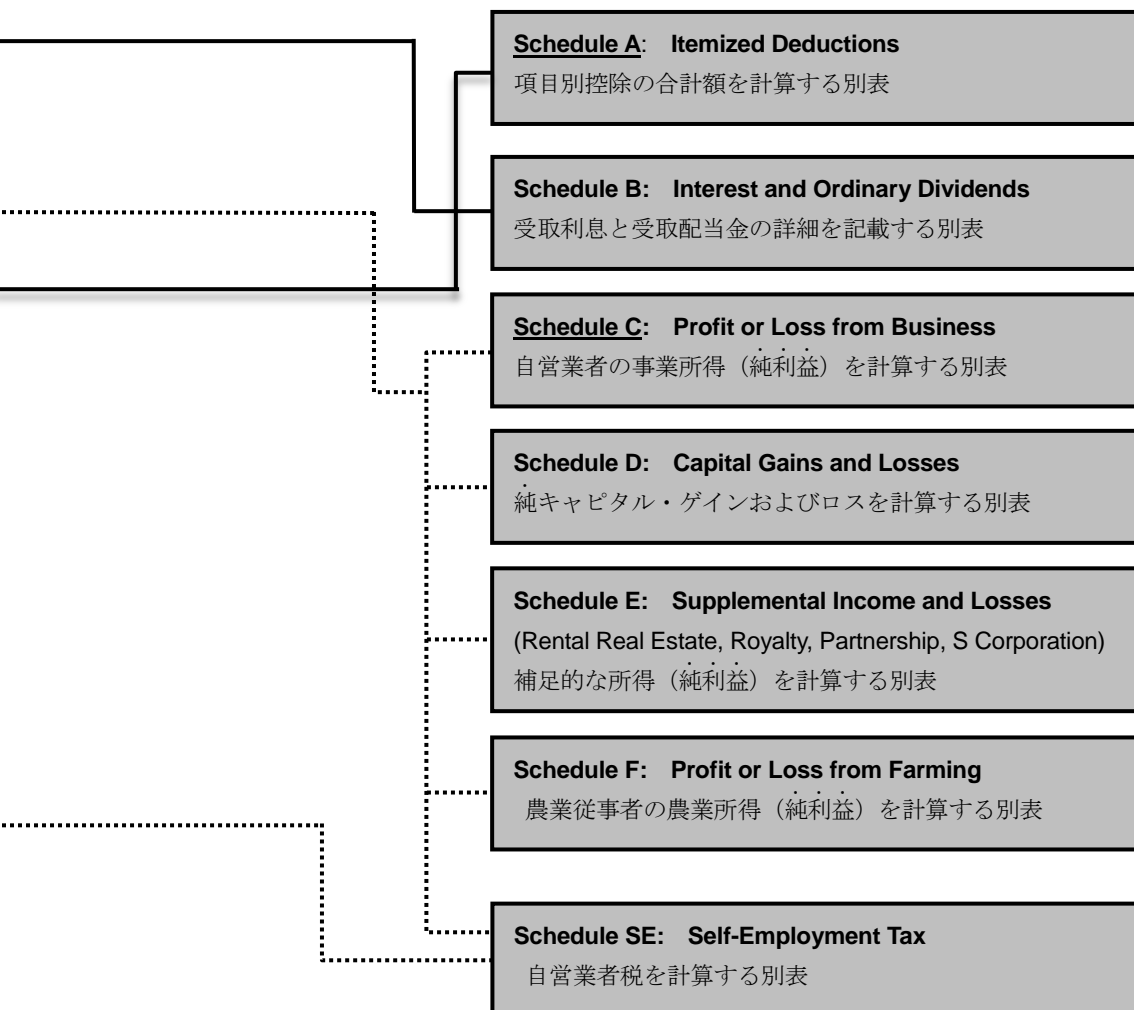
<参考> 申告納税額がある場合、通常、小切手またはクレジットカードで納付することになる。

一方、還付額がある場合、納税者が指定した銀行口座へ振込んでもらうか、もしくは、翌年の予定納税に充当することができる。予定納税については、第2章で学習する。

<Schedules (別表)>

申告書上の一部の項目は、必要に応じて、別表にて計算しその結果を Form 1040の2ページ目に転記または合算する。出題される可能性が高い別表には、次のようなものがある。





<個人所得税申告書 記入例と作成上のポイント>※申告書の詳細は **FORM 集 (問題集 Vol.2)** にて解説する。

Form **1040** Department of the Treasury – Internal Revenue Service (99) **2018** OMB No. 1545-0074 IRS Use Only – Do not write or staple in this space.

第3章 Filing status: ☐ Single ☒ Married filing jointly ☐ Married filing separately ☐ Head of household ☐ Qualifying widow(er)

Your first name and last name: **Dennis** Your social security number: **1 1 1 2 2 3 3 3 3**

Your standard deduction: **Green Acres NY 47** You are blind: ☐

If joint return, spouse's first name and last name: **Kelly Green** Spouse's social security number: **2 2 2 3 3 4 4 4 4**

Spouse standard deduction: ☐ Someone can claim your spouse as a dependent ☐ Spouse was born before January 2, 1954 ☒ Full-year health care coverage or exempt (see inst.)

☐ Spouse is blind ☐ Spouse itemizes on a separate return or you were dual-status alien

Home address (number and street). If you have a P.O. box, see instructions: **4 Jade Place** Apt. no.: **Green Acres NY 47** Presidential Election Campaign (see inst.) ☐ You ☐ Spouse

City, town or post office: **Green Acres NY 47** more than four dependents, see inst. and ☒ here ☐

第4章 Dependents (see instructions):

(1) First name	Last name	(2) Social security number	(3) Relationship to you	(4) <input checked="" type="checkbox"/> if qualifies for (see inst.):	Child tax credit	Credit for other dependents
Olive Green		3 3 3 4 4 5 5 5	Son	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Forest Green		4 4 4 5 5 6 6 6	Son	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
Stirling Silver		1 1 1 2 2 1 2 3 4	Mother	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

Sign Here Under penalties of perjury, I declare that I have examined this return and accompanying schedules and statements, and to the best of my knowledge and belief, they are true, correct, and complete. Declaration of preparer (other than taxpayer) is based on all information of which preparer has any knowledge.

Your signature: _____ Date: _____ Your occupation: _____

Spouse's signature. If a joint return, **both** must sign. Date: _____ Spouse's occupation: _____

Joint return? See instructions. Keep a copy for your records.

Paid Preparer Use Only Preparer's name: _____ Preparer's signature: _____ PTIN: _____ Firm's EIN: _____ Check if: ☐ 3rd Party Designee ☐ Self-employed

For Disclosure, Privacy: _____ 320B Form **1040** (2018)

Form 1040 (2018) Page **2**

1st STEP Attach Form(s) W-2. Also attach Form(s) W-2G and 1099-R if tax was withheld.

第5章 **第6章**

2nd STEP Standard Deduction for – Single or married filing separately, \$12,000. Married filing jointly or Qualifying widow(er), \$24,000. Head of household, \$18,000. If you checked any box under Standard deduction, see instructions.

3rd STEP **第10章** Itemized deductions の6項目とは?

1	2a	2b	3a	3b	4a	4b	5a	5b	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20a	21	22	23	
Wages, salaries, tips, etc. Attach Form(s) W-2.	Tax-exempt interest	Taxable interest	Qualified dividends	Ordinary dividends	IRAs, pensions, and annuities	Taxable amount	Social security benefits	Taxable amount	Total income. Add lines 1 through 5. Add any amount from Schedule 1, line 22.	Adjusted gross income. If you have no adjustments to income, enter the amount from line 6. If you have adjustments, subtract Schedule 1, line 36, from line 6.	Standard deduction or itemized deductions (from Schedule A)	Qualified business income deduction (see instructions)	Taxable income. Subtract lines 8 through 10 from line 7.	Tax (see inst.)	Child tax credit/credit for other dependents	Subtract line 12 from line 11. If zero or less, enter -	Other taxes. Attach Schedule 4.	Total tax. Add lines 13 and 14.	Federal income tax withheld from Forms W-2 and 1099-R.	Refundable credits: a EIC (see inst.) b Sch. 8812 c Form 8863	Add any amount from Schedule 5.	Add lines 16 and 17. These are your total payments.	If line 18 is more than line 15, subtract line 15 from line 18. This is the amount you overpaid.	Amount of line 19 you want refunded to you. If Form 8888 is attached, check here.	Amount of line 19 you want applied to your 2019 estimated tax.	Amount you owe. Subtract line 18 from line 15. For details on how to pay, see instructions.	Estimated tax penalty (see instructions).
	500		2,900						41,420					3,432	0				1,400	3,400							
		3,900	2,900						922		7,940			3,432	3,500		1,692	1,692	4,800	5,800							
											34,661			0						10,600	8,908						

第11章 米国税法特有の AMT

第12章 Tax credits / Payments の14項目とは?

Refund Direct deposit? See instructions. Routing number: _____ Account number: _____ Type: ☐ Checking ☐ Savings

Go to www.irs.gov/Form1040 for instructions and the latest information. Form **1040** (2018)

1. Overview of Individual Income Tax

SCHEDULE 1 (Form 1040)		Additional Income and Adjustments to Income		OMB No. 1545-0074 2018 Attachment Sequence No. 01	
Department of the Treasury Internal Revenue Service		▶ Attach to Form 1040. ▶ Go to www.irs.gov/Form 1040 for instructions and the latest information.			
Name(s) shown on Form 1040				Your social security number	
Additional Income	1-9b	Reserved		1-9b	
	10	Taxable interest		10	
	11	Alimony		11	
	12	Business income or (loss). Attach Schedule C or C-EZ		12	11,977
	13	Capital gain or (loss). Attach Schedule D if required. If not required, check here <input type="checkbox"/>		13	(3,000)
	14	Other gains or (losses). Attach Form 4797			
	15a	Reserved			
	16a	Reserved			
	17	Rental real estate, royalties, partnerships, S corporations, trusts, etc. Attach Schedule E		17	32,443
	18	Farm income or (loss). Attach Schedule F		18	
Adjustments to Income	19	Unemployment compensation		19	
	20a	Reserved		20b	
	21	Other income. List type and amount ▶ 例) Prize & Award, Gambling winning, ELA		21	
	22	Combine the amounts in the far right column. If you don't have any adjustments to income, enter here and include on Form 1040, line 6. Otherwise, go to line 23		22	41,420
	23	Educator expenses	23	250	
	24	Business expenses for tax preparers or other fee-based service providers			
	25	Above the line deductions の11項目とは？			
	26	Moving expenses for members of the Armed Forces. Attach Form 3903			
	27	Deductible part of self-employment tax. Attach Schedule SE	27	846	
	28	Self-employed SEP, SIMPLE, and qualified plans	28		
29	Self-employed health insurance deduction	29			
30	Penalty on early withdrawal of savings	30			
31a	Alimony paid ▶ Recipient's SSN ▶	31a			
32	IRA deduction	32	12,000		
33	Student loan interest deduction	33	1,300		
34	Reserved	34			
35	Reserved	35			
36	Add lines 23 through 35			36	15,596

For Paperwork Reduction Act Notice, see your tax return instructions. Cat. No. 71479F Schedule 1 (Form 1040) 2018

＜補足解説＞トランプ税制改革により、“ポストカードサイズ”となった Form 1040 の 1 ページ目と 2 ページ目 (Form 1040 本体) には、一般的なサラリーマン (給与所得者) や年金受給者が申告する頻度が高い項目のみ、個別に記入する行が設けられているといえる。

【Form 1040 Page 1】申告資格 (filing status)、納税者・配偶者・扶養家族の情報等を記入する。

【Form 1040 Page 2】所得項目は、1 行目：給与収入、2 行目：利子収入、3 行目：配当収入、4 行目：年金収入、5 行目：社会保障給付を記入する。6 行目で Schedule 1 で計算した「追加の所得の合計額 (Schedule 1 の 22 行目)」を合算し、**G I** を求める。次に、7 行目で Schedule 1 で計算した「調整総所得前控除 (above the line deductions) の合計額 (Schedule 1 の 36 行目)」を控除し、**A G I** を求める。一般的なサラリーマン (給与所得者) の場合、8 行目に定額控除 (standard deduction) を記入し、10 行目：課税所得を求める。税額控除項目については、12 行目：子供税額控除 (child tax credit)、扶養家族税額控除 (credit for other dependents)、16 行目：連邦所得税の源泉徴収税額を記入する。その他の税額控除やその他の税は、必要に応じて、Schedule 2～5 などを通じて申告することになる。

＜参考＞オバマ前大統領の 2015 年度 Form 1040 がホワイトハウスの HP で見れます！ (2019 年 2 月現在) トランプ税制改革前の「旧 Form 1040 形式」ですが、所得税計算の流れは同じです。2015 年当時オバマ氏の職業は米国大統領、ミシェル夫人はファーストレディと記載されています。トランプ大統領は公表していません。 <https://www.whitehouse.gov/sites/whitehouse.gov/files/images/Blog/Obamas%202015%20Taxes.pdf>

3. Filing (確定申告)

(2019 edition (V.3.3) Becker, R1-5)

(1) Filing Requirement (Who Must File?) (申告義務)

① General Rule

Generally, a taxpayer must file a return if his or her **gross income** is equal to or greater than the sum of:

- (a) The regular **standard deduction** (except for married filing separately) plus
- (b) The additional standard deduction for taxpayers age 65 or over or blind (except for married filing separately).

原則として、納税者の総所得 (GI) が定額控除額 (standard deduction) 以上である場合、申告義務が生じる。

例えば、2018年度において、65歳未満の単身者 (single) の場合、\$12,000の定額控除額 (standard deduction) 以上の総所得 (GI) があれば、申告しなければならない。



Trump's Tax Reform

定額控除額の増額

トランプ税制改正では、
人的控除・扶養控除
(personal and
dependency exemption)
を廃止した一方で、
右記の定額控除額
(standard deduction) を
概ね倍増している。

(Regular) Standard Deduction

<u>Filing status</u>	<u>2017</u>	<u>2018</u>
Single	\$6,350	\$12,000
Head of household	\$9,350	\$18,000
Married filing jointly or Surviving spouse	\$12,700	\$24,000
Married filing separately	\$6,350	\$12,000

<参考> 申告義務の有無を判断する上での注意点

- 夫婦個別申告 (MFS) を選択する場合には、総所得 (GI) が\$5以上である場合、申告義務が生じる。
- 65歳以上の者または視覚障害者の場合、上表の定額控除額に追加して、追加の控除 (additional standard deduction) が受けられる。詳細は第10章で学習するが、申告義務の有無を判断する上での計算に含まれるのは、65歳以上の者の追加の控除のみである。

If a taxpayer has gross income of less than the standard deductions and has withholding tax taken out of his/her pay, he/she needs to file a return in order to receive a tax refund, but there is no filing requirements.

但し、申告義務に関わらず、源泉徴収税額などの還付 (refund) を受けるためには申告が必要となる。

② Exceptions

Certain individuals must file income tax returns even if their gross income is lower than the "general rule" requirement.

以下の者には、原則ルールに追加して別の基準が適用される。

(a) Individuals whose net earnings from self-employment are \$400 or more must file.

『自営業者 (self-employed person)』の場合には、自営業からの事業所得（純利益）が\$400以上ある場合、申告義務が生じる。

＜参考＞ 自営業者の場合、申告義務の原則ルールにおけるG Iは Schedule C の 7 行目（＝一般的には、売上－売上原価）の金額を指す。この申告義務の原則ルールに該当しなくても（つまり、課税所得が発生していない状態であっても）、Schedule C の 3 1 行目（＝事業経費を差し引いた純利益）に92.35%を乗じた金額が\$400以上あれば Form 1040および Schedule SE の提出が必要となる。Schedule SE は第11章で学習する。

なお、第 5 章で学習する欠損金繰越控除規定 (net operating loss carryforward) を利用する場合、申告義務に関わらず、申告が必要となる。

- (b) Individuals who can be claimed as dependents on another taxpayer's return, have unearned income, and gross income of \$1,050 (2018) or more must file. 他の納税者の申告書上で『扶養家族 (dependent)』となっている者についても、一定の場合に、申告義務が生じる。例えば、親の申告書上で扶養家族である子供の所得が不労所得 (unearned income) のみである場合、2018年度においてその子供の不労所得及びG I が\$1,050 以上あれば、子供自身で申告しなければならない。※厳密には、第10章で学習する「扶養家族の定額控除額 (dependent's standard deduction)」を超える場合に、申告義務が生じることになる。

Exercise

Under which of the following circumstances *must* an individual taxpayer file a tax return, even if their Gross Income is less than the standard deduction?

- A taxpayer must always file a tax return.
- If the taxpayer had withholding taxes deducted from his/her pay.
- If the taxpayer had more than one dependent.
- If the taxpayer had net self-employment earnings of more than \$400.

Explanations

Choice "d" is correct. Generally an individual taxpayer need not file a tax return if his or her Gross Income is less than the standard deduction. However, if a taxpayer is self-employed with net earnings of more than \$400, he or she must file a tax return. ※自営業者の場合の申告義務は要注意！自営業からの事業所得（純利益）が\$400以上ある場合、申告義務が生じる。

(2) Taxable Year (課税年度：所得税の計算期間)

Annual accounting periods are used to measure taxable income. The taxable year may be a calendar year or a fiscal year under certain restrictions.

課税所得を計算するためには期間を区切る必要があり、この課税所得を計算するために区切られた会計年度のことを、課税年度 (taxable year) という。

1月1日から12月31日の1年間＝「**暦年課税年度 (calendar year)**」を採用している場合が多いが、12月31日以外の暦月最終日に終了する1年間＝「**会計課税年度 (fiscal year)**」を用いることも認められている。

※「**会計52-53週課税年度 (52/53-week tax year)**」：52～53週で成り立つ、每期同じ月の同じ最終曜日（例：1月の最終金曜日）に終了する課税年度をいう。

※「**短期課税年度 (short taxable year / short period)**」：課税年度の期間を変更した場合などに生じる1年（12ヵ月）に満たない課税年度をいう。詳細は、PART IV Corporation で学習する。

(3) When to File? (申告期限)

① Due Date : April 15

Individual taxpayers must file on or before the fifteenth day of the fourth month following the close of the taxpayer's taxable year which is April 15.

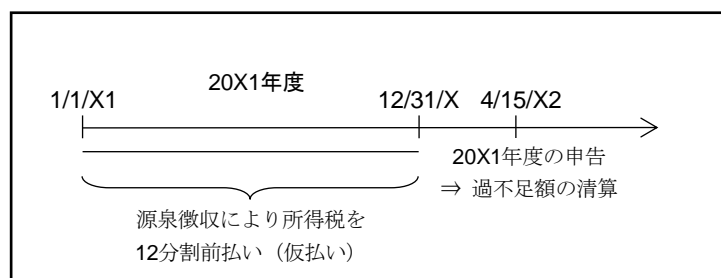
申告義務のある納税者は、原則として、その年の翌年の4月15日（calendar year を採用している場合）までに申告書を提出しなければならない。納付すべき所得税額（申告納税額）の納付期限も、その年の翌年の4月15日までである。なお、4月15日が土日祝日の場合、翌営業日となる。

※ 納税者が年度の途中で死亡した場合も、1月1日から死亡日までの所得を計算して申告義務があれば申告と納税が必要となり、申告期限は上記と同様。

<参考> 申告書の提出方法：インターネットを用いた「電子申告 (e-file)」システムを用いることもできるが、申告書を「郵送」する場合、申告期限内であれば 申告書提出日＝郵便局等の消印日（※IRS に到着した日ではない）となる。納税者が実際に郵送したが IRS に届かなかった場合などには納税者側に証明の義務があるため、送付レシートを必ず保管しておく。

<補足解説> 所得税の納税方法：所得税は申告期限に一括して支払うのではなく、その年度中に一定額以上前払いしておく必要がある。サラリーマン：給与所得者の場合、源泉徴収（給与からの天引き）により所得税を前（仮）払いしている。

サラリーマンの場合



② Extension

An **automatic six-month extension (until October 15)** is available for those taxpayers who are unable to file on the April 15 due date. Although granted automatically, the six-month extension must be requested by the taxpayer by filing Form 4868 by April 15.

延長に関する申請書 (Form 4868) を4月15日 (calendar year を採用している場合) までに提出し必要な納税を済ませることにより、自動的に申告書の提出期限を6ヶ月延長することが可能。

Point !**Payment Required with Extension**

The automatic six-month extension is **not an extension for the payment of any taxes owed**. The due date for payment of the taxes remains April 15. If the tax liability is not paid by this date, penalties will be imposed for late payment.

6ヶ月の延長を受けた場合であっても、税の納付期限は延長されない。税の納付期限は、4月15日 (calendar year を採用している場合) のままである。そこで、納付すべき所得税額がある者が6ヶ月の延長を受ける場合には、4月15日までに概算で納付を済ましておく必要がある。納付期限までに完納しておかないと、未納税額に対して「延滞納付に関する罰則金 (failure-to-pay penalty)」が課せられることになる。

Form 4868		Application for Automatic Extension of Time To File U.S. Individual Income Tax Return		OMB No. 1545-0074
Department of the Treasury Internal Revenue Service (99)		For calendar year 2018, or other tax year beginning , 2018, and ending , 20		2018
Part I Identification		Part II Individual Income Tax		
1 Your name(s) (see instructions)		4 Estimate of total tax liability for 2018 . . . \$		
Address (see instructions)		5 Total 2018 payments . . .		
City, town, or post office		6 Balance due. Subtract line 5 from line 4 (see instructions) . . .		
State		7 Amount you're paying (see instructions) . . . ▶		
ZIP code		8 Check here if you're "out of the country" and a U.S. citizen or resident (see instructions) . . . <input type="checkbox"/>		
2 Your social security number	3 Spouse's social security number	9 Check here if you file Form 1040NR or 1040NR-EZ and didn't receive wages as an employee subject to U.S. income tax withholding . . . <input type="checkbox"/>		
For Privacy Act and Paperwork Reduction Act Notice, see page 4.		Cat. No. 13141W Form 4868 (2018)		

Exercise

If a taxpayer requests an extension of time to file their return, by which date must they pay their tax liability?

- By the original due date of the tax return (April 15 for calendar year taxpayers).
- Any time between the original due date and the extension date.
- By the extension date.
- Within one month of actually filing their return.

Explanations

Choice "a" is correct. An extension to file a tax return is not an extension to pay the tax liability. Therefore, the amount of the tax liability should be estimated and forwarded with form 4868 (extension to file) prior to the original due date (generally April 15). If the tax liability is not paid by this date, penalties will be imposed for late payment.

※税の納付期限は、4月15日のままである。

[illegible]

4. Penalties Imposed on Taxpayers (納税者に対する罰則金)

(Becker, R6-52~56)

ここでは、基本的な罰則金を説明する。詳細は PART I 第13章：税務手続きで見ていく。

① **Failure-to-File (Late Filing) Penalty** (遅延申告に関する罰則金)

The penalty is 5% of the amount of tax due for each month (or any fraction thereof) the return is not filed. The penalty cannot exceed a maximum of 25% of the amount of tax due.

申告書が定められた期限内に提出されない場合、1ヶ月ごとに未納税額に対し5%相当が、罰則金として課せられる(最高25%まで)。但し、合理的な理由がある場合には免除される可能性がある。また、未納税額がない場合、原則、この罰則金は生じない。

② **Failure-to-Pay (Late Payment) Penalty** (延滞納付に関する罰則金)

The penalty is 0.5% per month (or fraction of month) up to a maximum of 25% of unpaid tax.

納付すべき税額が定められた期限内に完納されない場合、1ヶ月ごとに未納税額に対し0.5%相当が、罰則金として課せられる(最高25%まで)。但し、合理的な理由がある場合には免除される可能性がある。

※「**納税不足による罰則金 (tax delinquency penalty)**」と出題されることもある。

(注) 第2章で学習する「予定納税の過少納付(及び源泉徴収不足)による罰則金 (underpayment penalty)」とは異なるので注意しよう。

<参考> 申告書の提出期限の延長 (extension) を受けた場合、原則の申告期限(個人所得税の場合4/15)までに当年度の納税額の90%を納付し、なおかつ、延長後の申告期限(個人所得税の場合10/15)までに完納すれば、延滞納付に関する罰則金(failure-to-pay-penalty)は例外的に課されない。

※ **Interest on Penalties** (延滞利息)

Interest, compounded daily, is charged on any unpaid tax from the tax return due date until the date of payment.

未納税額に対して連邦短期利率 (federal short-term interest)をベースにした利率で「延滞利息」が課せられる。各期限から完納する日までの期間が対象となる。

JAPAN**知っておきたい日本の所得税の基礎知識****コーヒーブレイク①****1) 所得税とは？**

日本で所得税と言ったら、「個人」が1暦年間に稼いだ所得に対して課される国税です。

個人が得た所得	国税	所得税
	地方税	個人住民税・個人事業税

2) 所得税の課税期間と申告期限

所得税の課税年度（計算期間）は、（法人税は事業年度を定めることができますが、）1暦年となります。納付すべき所得税額がある人は、原則としてその年の翌年3月15日までに確定申告書を税務署に提出し、納税しなければなりません。

3) 年末調整とは？

サラリーマンなどの給与所得者については、会社が「年末調整」を行うので、基本的に確定申告しなくてもよいとされています。給料の支払い者である会社は、その給料の支払いをする時に、その支払いを受ける人の扶養親族の数などを考慮して一定の「源泉徴収税額表」に基づき税金を天引き（源泉徴収）します。但し、この源泉徴収される金額は、毎月同じ位の収入があるという前提で決められ、また、年の途中で扶養親族が増えても遡って修正はしませんので、その人の年税額とは一致しません。そこで、この不一致を修正する手続きが「年末調整」です。具体的には、給料の支払い者である会社が、その年の最後の給料、つまり12月分の給料の支払いをする時に、1年間の源泉徴収額の合計額と年税額とを比較して、過不足額の「清算（＝年末調整）」を行うことになります。年末調整は、「給与所得者の扶養控除等申告書」を提出している人で、その年度分の給与収入が2,000万円以下の人について行われます。但し、年の途中で退職した人については、死亡退職の場合を除き、退職時に年末調整は行われません。

4) 確定申告をしなければならない人 ※主な場合を記載

- ① 給与所得者（サラリーマン）でその年度分の給与収入が2,000万円を超えている人
- ② 2ヵ所以上の会社から給与を受けている人（※一定の要件を満たせば申告不要）
- ③ 給与所得者（サラリーマン）で、給与所得や退職所得以外の所得（家賃、原稿料などの副収入）の合計が20万円を超える人
- ④ 自営業者（個人事業主）で納付すべき所得税額がある人
- ⑤ 家事使用人（家政婦など）で給与から源泉徴収されていない人
- ⑥ 外国企業から受け取った退職金など、源泉徴収されないものがある人

5) 確定申告をすれば税金が還付される人 ※主な場合を記載

- 給与所得者（サラリーマン）で医療費控除、雑損控除、ふるさと納税などの寄付金控除、住宅ローン控除（←1年目のみ）などを受ける人 ※各種控除については後述する。
 - 給与所得者（サラリーマン）で年の中途に退職したまま再就職しなかった人
- ※ 還付申告／更正の請求期限（平成23年分以後）は原則5年。

1. Overview of Individual Income Tax Terminology

<input type="checkbox"/>	1	above the line deductions (adjustments)	調整総所得前控除
<input type="checkbox"/>	2	adjusted gross income (AGI)	調整後総所得
<input type="checkbox"/>	3	below the line deductions	調整総所得後控除
<input type="checkbox"/>	4	deductions	所得控除項目
<input type="checkbox"/>	5	due date	申告期限
<input type="checkbox"/>	6	exclusions	総所得除外項目
<input type="checkbox"/>	7	failure-to-file (late filing) penalty	遅延申告に関する罰則金
<input type="checkbox"/>	8	failure-to-pay (late payment) penalty	延滞納付に関する罰則金
<input type="checkbox"/>	9	filing requirement	申告義務
<input type="checkbox"/>	10	filing status	申告資格
<input type="checkbox"/>	11	gross income	総所得
<input type="checkbox"/>	12	inclusions	総所得算入項目
<input type="checkbox"/>	13	internal revenue code	内国歳入法
<input type="checkbox"/>	14	internal revenue service	内国歳入庁
<input type="checkbox"/>	15	itemized deductions	項目別控除
<input type="checkbox"/>	16	progressive rate	累進税率
<input type="checkbox"/>	17	qualified business income deduction	適格事業所得控除
<input type="checkbox"/>	18	refund	還付
<input type="checkbox"/>	19	regressive rate	逆進税率
<input type="checkbox"/>	20	schedule	別表
<input type="checkbox"/>	21	self-assessment system	申告納税方式
<input type="checkbox"/>	22	standard deduction	定額控除
<input type="checkbox"/>	23	taxable income	課税所得
<input type="checkbox"/>	24	tax credits	税額控除項目
<input type="checkbox"/>	25	tax due (tax liability)	申告納税額
<input type="checkbox"/>	26	tax-exempt	非課税
<input type="checkbox"/>	27	tax rate schedule	税率表
<input type="checkbox"/>	28	tax return	税務申告書